

もしもの災害に備えて、地域でつながりをつくろう

▶ 問い合わせ 高齢者支援係 (☎ 2 2 3 - 3 5 3 6)



突然起こる災害から身を守るためには、日頃からの備えや迅速な避難が必要です。そのため、町では災害時に自力で避難することが難しい人の避難支援が円滑に行えるよう、避難行動要支援者名簿を作成しています。

避難行動要支援者名簿とは	地域で安心して暮らすために	避難行動要支援者名簿の取り扱い
<p>災害時に支援を必要とする高齢者や障がい者などのうち、名簿登録に同意した人の名簿です。この名簿は毎年更新して、地域の自主防災組織や自治区、民生・児童委員、消防署へ提供しています。</p> <p>名簿は、平常時には、地域での見守り活動や要支援者の情報共有、避難支援計画の作成資料などとして活用され、災害時には、避難支援や安否確認などに役立てられます。</p>	<p>「避難行動要支援者名簿」の活用は、災害時に、地域の助け合いにより被害を減らそうとする「共助」の取り組みのひとつです。地域での支援が円滑にできるように、自治区への加入など、地域の皆さんで日頃から交流を深めておくことが大切です。</p> <p>もしもの災害に備えて、避難行動要支援者名簿を活用し、平常時から支援が必要な人たちを知ること、地域での関係づくりや日頃からの声かけ・見守り、支えあいマップ作成、避難訓練など地域で取り組んでみませんか。</p> <p>支えあいマップ作成は、高齢者支援係または芦屋町社会福祉協議会へ相談してください。</p>	<p>避難行動要支援者名簿を取り扱う人は、町が行う個人情報保護に関する研修を受講した人だけです。</p> <p>また、守秘義務も課せられています。</p>

※名簿登録を希望する人は、各自治区長または高齢者支援係へ相談してください。

※名簿登録は強制ではありません。

※名簿への登録は、災害時の避難支援を保証するものではありません。また、避難を支援する人が支援する義務や法的な責任を負うものではありません。

町内の福祉施設と災害時の支援に関する協定

▶ 問い合わせ 障がい者・生活支援係 (☎ 2 2 3 - 3 5 3 0)、高齢者支援係 (☎ 2 2 3 - 3 5 3 6)

〈協定内容・協定締結先〉

①町が福祉避難所を開設したときに、障がいがあり、特別な配慮を要する人のために、避難所に生活支援員を派遣してもらうこと

法人名	施設名	対象者	所在地
社会福祉法人遠賀中間会	障がい福祉サービス事業所 みどり園	障がい者	緑ヶ丘 4-42

②町が設置する避難所では受け入れが難しい在宅の重度の要介護者を町内の福祉施設で受け入れてもらうこと

法人名	施設名	対象者	所在地
社会福祉法人孝徳会	介護老人保健施設 リカバリーセンター ひびき	高齢者	大字芦屋 1145-3
社会福祉法人正勇会	特別養護老人ホーム ソレイユ芦屋	高齢者	大字山鹿 122-1
社会福祉法人まつかぜ会	特別養護老人ホーム まつかぜ荘	高齢者・障がい者	緑ヶ丘 2-2

私たちの手で支えあいの地域をつくる



高齢者などの在宅生活を支えます — 配食サービスボランティアグループ「八朔の会」 —

高齢者等配食サービス事業

芦屋町には、調理や買い物が困難な一人暮らしの高齢者などの在宅生活を支える福祉サービス「高齢者等配食サービス事業」があります。週3回、栄養のバランスが取れた夕食の弁当を届ける事業で、利用者の見守り活動にもつながっています。この配食サービスを支えているのがボランティアグループ「八朔の会」です。

八朔の会

八朔の会の活動は、昭和60年ごろ、芦屋町社会福祉協議会（以下、「町社協」）主催のボランティア講座の受講者が、一人暮らし高齢者のために弁当を調理して届ける活動を始めたのがきっかけで、今日まで40年近く活動が続いています。開始当初は週1回の活動でしたが、今では週3回となり、利用者にとって欠かせない在宅支援の一つになっています。



八朔の会の活動 調理班と配食班

八朔の会の会員は、調理班と配食班の2つのグループに分かれて活動しています。

【調理班】 町の事業では月・水・金曜日の週3回配食を行っていますが、八朔の会は水曜日の調理を担当しています（月曜と金曜は、専門の事業者が調理します）。

調理班は3班あり、週毎に交代で調理をするので、会員は月に1回から2回、弁当作りに携わっています。調理は、中央公民館の調理室で班単位で行っていて、栄養士が作成した献立をもとに、数十人分の弁当を2～3時間かけて作ります。栄養バランスの良い献立を覚えて、自宅での料理の腕も上がったという人もいます。

【配食班】 月・水・金曜日の週3回、弁当に町内の小学生が書いてくれた手紙を添えて、利用者へ手渡しています。利用者への手渡しや世間話をするのが利用者の見守りにもつながり、また、利用者の困りごとを察知し、町社協と連携して関係機関につなぐきっかけになることもあります。

研修会や親睦会など

調理や配食活動のほかに研修会を定期的に行ったり、会員同士の親睦を深めるイベントも行ったりしています。現在は新型コロナウイルス感染症予防策を徹底しながら活動を行っています。



一緒にボランティア活動をしませんか

高齢者を地域で支えていくためには、これからもボランティアの皆さんの力が必要です。あなたも八朔の会やその他のボランティア団体に参加して、仲間づくり・社会奉仕に取り組んでみませんか。

▷八朔の会・ボランティア活動などに関する問い合わせ 社会福祉協議会（☎222-2866）